

常識を覆す表現と美意識
小谷元彦「デプス・オブ・ザ・ボディ」



Motohiko Odani, Terminal Impact (featuring Mari Katayama "tools"), 2014. Video installation Sound:... Nao NISHIHARA Photo by Nobutada OMOTE Courtesy of Albertz Benda, New York and YAMAMOTO GENDAI, Tokyo.m

国際的に活躍する現代美術家の小谷元彦（おだに・もとひこ）個展「デプス・オブ・ザ・ボディ（Depth of the Body）」が、チェルシーのギャラリー「アルバーツ・ベンダ」で開催中だ。

小谷は1972年、京都生まれ。東京芸術大学美術学部彫刻科卒業、同大学院修了。リヨン（フランス:2000年）や、イスタンブール（トルコ:2001年）、光州（韓国:2002年）で行われたビエンナーレに参加。ベネチア・ビエンナーレ（イタリア:2003年）では日本代表として選出。日本のみならずアジアやヨーロッパで作品を発表し、今回、ニューヨーク初個展となる。

本展は主に4つのシリーズで構成。

「New Born」は、小谷が2007年から始めた彫刻シリーズ。生物の「骨格標本」のような作品で、そのフォルムは地球外生命体の姿を思わせる。

「Skeleton」は、最初にベネチア・ビエンナーレで発表された作品。つらら状に下がる鍾乳石のような彫刻で、「重力」がテーマ。

“Representation and aesthetics to overturn the common sense Motohiko Odani
‘depth-of-the-body,’” *Yomitime*, May 13, 2016.

albertz benda

515 W 26th St | New York, NY | 10001
Tel 212.244.2579 | www.albertzbenda.com

初公開となる「A Cosmic Traveler of Blindness」は、ビデオ・インスタレーション。盲目の男が水中深くに沈む「ボディー・パーツ」を探しているようで、時折灯るLEDライトが不気味な光を放つ。
「Terminal Impact」=写真=は、両足が義足のアーティスト・片山真理とコラボした大型のマルチスクリーン・インスタレーション。ビデオとフィジカルオブジェが交差する「映像彫刻」だ。
作品全てにおいて、常識を覆す斬新な表現と美意識、その造形力に圧倒される。

Motohiko Odani: Depth of the Body

- 6月18日(土)まで
- 会場：Albertz Benda
515 W. 26th St.
- Tel: 212-244-2579
- www.albertzbenda.com

“Representation and aesthetics to overturn the common sense Motohiko Odani
'depth-of-the-body',” *Yomitime*, May 13, 2016.

albertz benda

515 W 26th St | New York, NY | 10001
Tel 212.244.2579 | www.albertzbenda.com